

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 123	提案機関名 農政課
<b>要望問題名</b> ブランド力が及ぼす地域への影響について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 県内で生産される新鮮で安全・安心な農林水産物及びその加工品を「かながわブランド」として登録する制度とともに、各市や各農協単位で地域ブランドとして登録制度が並列して存在する現状にあります。 都市農業における「ブランド」力の地域への波及効果（例えば、生産者側：メリット等、消費者側：利用状況等）と「ブランド」力を高めるための方策のとりまとめを希望します。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	企画経営部
<b>対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) 技術シーズを創出するための調査研究 6次産業化の推進における農商工連携の経済的パフォーマンスの解明			
<b>対応の内容等</b> 平成28年度から技術シーズを創出するための調査研究として上記試験研究課題に取り組んでいます。この中で、湘南ゴールドの特産品開発に関わる農商工連携関係を調査し、各加工過程に関わる業者の経済効果の解明に着手しました。経済的パフォーマンス評価は、(国研)農研機構においても基礎研究の段階で、実用化に向けては更なるデータ収集と類型化などの整理が必要であり、共同研究により課題解決を進めていく予定です。 なお、「ブランド力」については、過去にも様々な知見が報告されています。「ブランド力」とは、消費者のブランド志向に当てはまり、他者と品質や地域性において優位性を形成することにより発揮されるものとされています。かながわブランドについては、明確なブランドコンセプトと品質管理、流通体制の整備によりブランド力が高まるものと考えますので、方策の取りまとめについては調査指導に協力します。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内    ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			